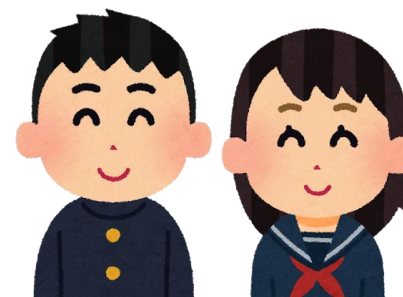


# いいこといっぱい振り返り

内容理解が  
より確かな  
ものになる

現状に応じて  
取り組める

書くことが  
当たり前に  
なる



# いいこといっぱい振り返り

つまずき

伸び 学習意欲

学習状況が  
把握できる

実態に  
応じた  
授業改善

実態に  
応じた  
補完の取組

ゴールの姿を  
意識できる

学校全体で  
取り組める

全教科で  
取り組める

褒める  
機会が  
増える



# いいこといっぱい、振り返り！

## 児童・生徒にとって

- ◆児童・生徒は、思考の流れや結論等をまとめる過程で、内容理解がより確かなものになる。
- ◆現状に応じて書くことができる。
- ◆様々な条件に合わせて「書くこと」が当たり前になり、学力調査や入試等の思考を伴う記述式問題にも対応できるようになり、引いては進路保障にもつながる。

## 教員にとって

- ◆「振り返り」は、これまでも各校で取り組んできた授業スタンダードに位置づけられているものなので、導入しやすく教員のベクトルも合わせやすい。
- ◆学力調査の対象でない教科も含めて、全教科等を巻き込んで取り組める。

# いいこといっぱい、振り返り！

## 教員にとって

- ◆教員が、児童・生徒に身に付ける資質・能力をより意識して取り組むことにつながる。校内研や教科会等に振り返りを持ち寄って吟味することで、その取組は更に組織的なものになる。
- ◆児童・生徒の毎回の「振り返り」から、つまずきや伸びの状況、意欲などが把握でき、次時の授業展開の見直しや個別の手立てを工夫することなど、授業や補充学習等の改善につながる。
- ◆児童・生徒の現状に合わせて取り組める。
- ◆評価の根拠資料になる。
- ◆児童・生徒の小さな伸びを褒める材料にもなり、懇談や電話で保護者にも伝えられる。